

小学生のための  
ヤマハ  
ジュニアバンドメソード



【吹奏楽用 スコア】

## ジュニアバンドメソードの特長

- ステップ1からステップ12まで順番に練習しよう。

リズムや音域の難易度を少しずつ広げています。順番に練習しましょう。

- 「一人で練習〜♪」や「A（B）チームとあわせよう」など  
いろいろな形で楽しく練習ができます。

一人で、友達と合わせて、合奏でなど楽しく練習できる工夫をしました。

- 楽ふのお話では、楽ふの読み方を、説明してあります。

一人で練習する事が読譜力向上のカギです。読譜力アップにご活用ください。

- 新しい音には、指づかいをつけてあるので一人でも  
練習ができます。

楽譜に指番号を書かない習慣を身につけさせましょう。

## 練習するときのヒント

- 無理はしないでね。つかれたら休むことも大切です。
- 持ち方やしせいは、次のページを見てね。
- 鏡を使ってみることもおすすめです。
- たっぷりと息をすいましょう。
- お友だちの音も良くきこう。

姿勢が悪いと、良い音は出せません。

注意しないとすぐに息の入らない姿勢になってしまいます。

気がついたらすぐに注意しましょう

## 楽器の取りあつかいについて

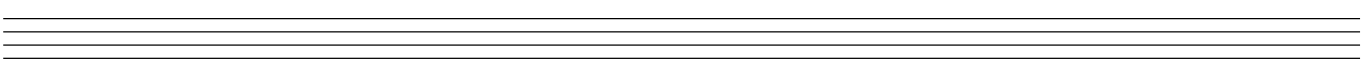
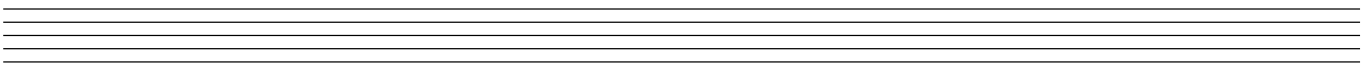
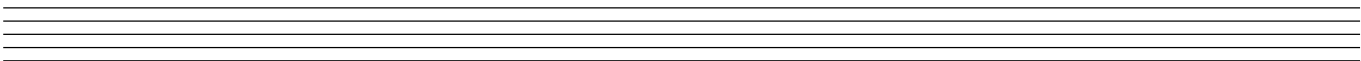
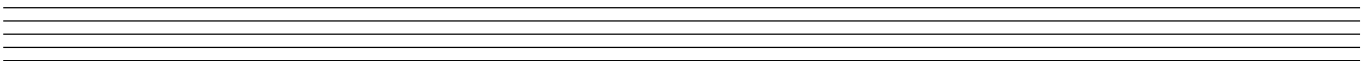
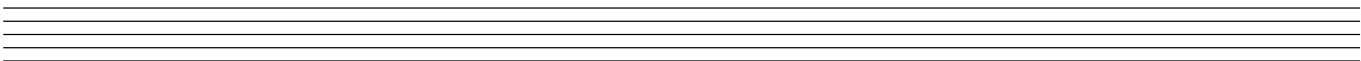
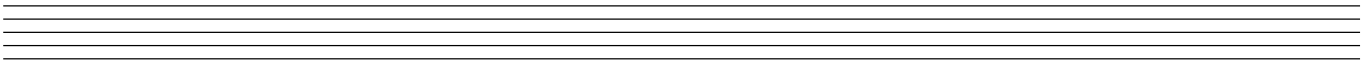
- 楽器の取りあつかいはしんちょうに。
- 楽器ごとに取りあつかいがちがいます。  
こまった事があったら楽器屋さんに相談しよう。
- 金ぞくは強いようでも、ぶつけたり落としたり  
するとへこんでしまいます。大切にしよう。
- 木管楽器の指を動かす部分（キィ）も  
ていねいにあつかいましょう。

日頃から楽器を丁寧に使う習慣を身につけさせることが  
大切です。「お手入れの達人」（別冊）も参考に。

楽器の状態が悪くても、子ども達は平気で吹いています。

定期的な楽器点検を専門家に依頼しましょう。

<MEMO>



# ステップ1

## <音を出してみよう>

### ※ ステップ1の主な内容

- ・演奏しやすい音の確認
- ・拍取り
- ・4分音符のリズム

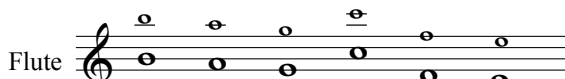
※ **ひとりで練習 ～** は個人練習の課題です。新しい音の運指や、合奏課題だけでは足りない補充練習が示されています。

※ **楽ふのおはなし** は新しく出てくる記号などの読み方を示しています。

※ 合奏用の課題は番号が付いています。楽器によってタイトルが違う場合があります。

### ひとりで練習 ～

音を出してみよう  
小さい音ぶも吹いてみよう



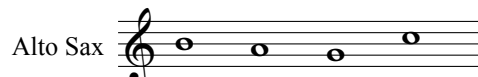
音を出してみよう



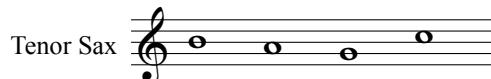
音を出してみよう



音を出してみよう



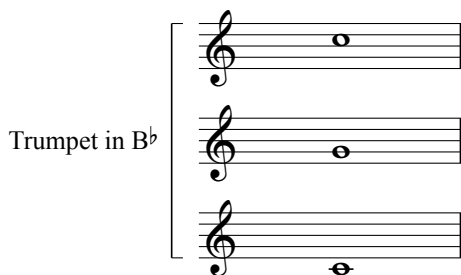
音を出してみよう



音を出してみよう

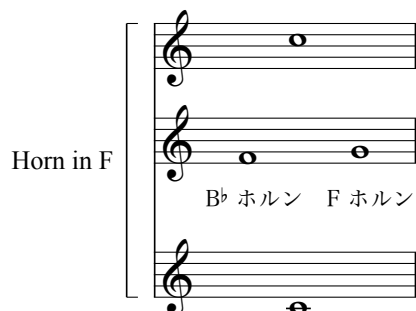


音を出してみよう  
どの音が出しやすいかな



- 高い音いきが出しやすい人はステップ2 B、ステップ2 Aのじゅん番で練習します。
- ひくい音いきが出しやすい人はステップ2 A、ステップ2 Bのじゅん番で練習します。

音を出してみよう  
どの音が出しやすいかな



- 高い音いきが出しやすい人はステップ2 A、ステップ2 Bのじゅん番で練習します。
- ひくい音いきが出しやすい人はステップ2 B、ステップ2 Aのじゅん番で練習します。

※ パートブックには新しく出てきた音の運指が示されています。



音を出してみよう  
どの音が出しやすいかな

Trombone  
Euphonium

高い音いきが出しやすい人はステップ2 B、  
ステップ2 Aのじゅん番で練習します。

ひくい音いきが出しやすい人はステップ2 A、  
ステップ2 Bのじゅん番で練習します。

音を出してみよう  
どの音が出しやすいかな

E♭ Tuba

高い音いきが出しやすい人はステップ2 A、  
ステップ2 Bのじゅん番で練習します。

ひくい音いきが出しやすい人はステップ2 B、  
ステップ2 Aのじゅん番で練習します。

音を出してみよう  
どの音が出しやすいかな

B♭ Tuba

高い音いきが出しやすい人はステップ2 B、  
ステップ2 Aのじゅん番で練習します。

ひくい音いきが出しやすい人はステップ2 A、  
ステップ2 Bのじゅん番で練習します。

音を出してみよう

Snare Drum

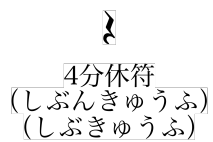
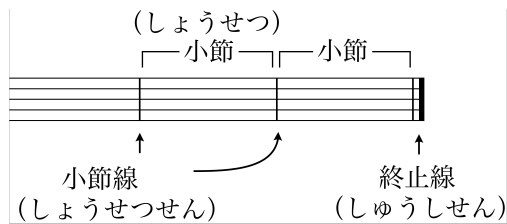
Snare Drum = スネアドラム  
R = 右手 L = 左手

※ パーカッションの新しい楽器（省略名）にはカタカナが表記されています。

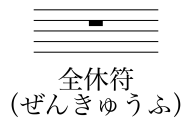
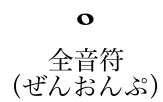
※ 次の「ステップ2」は音域によってAとBに分かれています。  
金管楽器は演奏しやすい音域を練習した後、もう一方を練習します。  
テナーサクソフォンはステップ2 B、ステップ2 Aの順番で練習します。  
その他の木管楽器とパーカッションはステップ2 A、ステップ2 Bの順番で練習します。

楽ふのおはなし

全パート



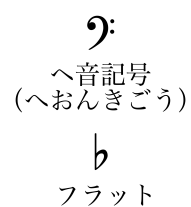
管楽器



木管楽器  
トランペット  
ホルン



トロンボーン  
ユーフォニアム  
チューバ

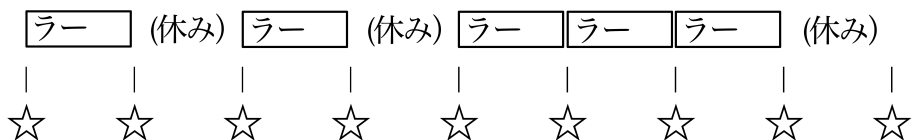


※ ☆は拍を表しています。  
四角い枠は音価を表しています。

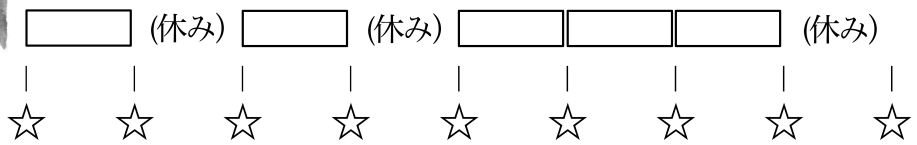
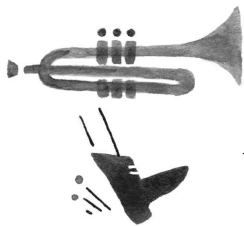
### 1. 手びょうしの練習



### 2. 手びょうしに合わせて歌いましょう

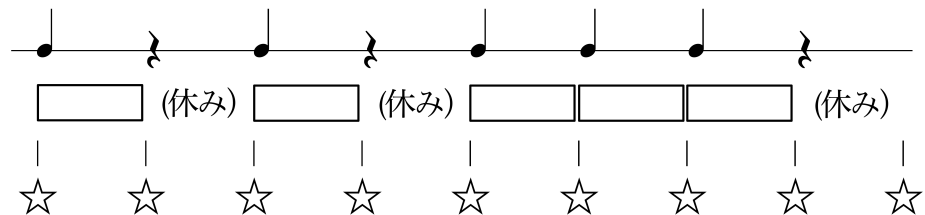


### 3. 足ではく をとりながら演奏しましょう（出しやすい音で）

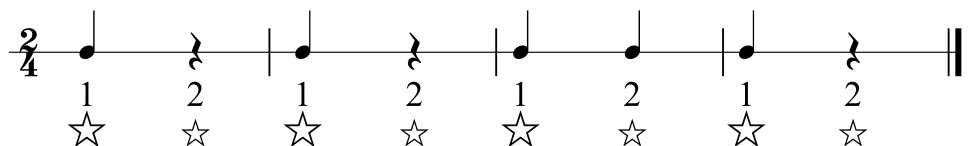


※ 拍を取りながらの練習はとても重要です。

### 4. 上のリズムを 音ぶ であらわすと・・・



### 5. はく を数えましょう（2びょうし）



### 6. はく を数えましょう（4びょうし）

